

令和3年度 丹生公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

地域住民の生涯学習や交流の拠点として、誰もが気軽に利用できるよう住民の要望を考慮した事業を計画し、地域住民に公民館が親しまれるような活動を展開します。
地域づくり協議会を支援し、協議会活動の定着と住民への浸透に努めます。

(2) 重点施策

- これまで公民館にあまり足を運ばなかった若年層に参加してもらえるような事業を企画・実施します。
- 地域の各種団体と連携を深め、地域づくりを推進します。
- 地域住民のやりがい、生きがい、仲間づくりを支援します。
- 子ども向けの体験学習事業を推進します。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催共催
小学生	青少年教室	夏休みこども体験教室	7月	20人	1回	主催
成人	健康講座	機能改善体操と貯筋運動	6月～7月	11人	2回	主催
		健康気功教室	1月～3月	27人	3回	主催
		ヨガ教室	6月～10月	43人	5回	主催
	文化講座	寄せ植え教室	11月	11人	1回	主催
		盆栽こけ玉教室	7月	6人	1回	主催
	ものづくり学習	編物教室	4月～3月	75人	10回	主催
		パッチワーク教室	11月・12月	14人	2回	主催
	食育学習	そば打ち教室	12月	10人	1回	主催
高齢者	高齢者学級	コスモス教室	4月～3月	40人	4回	主催

3 主な事業紹介

(1) 講座名

夏休みこども体験教室

① ねらい

新型コロナウイルスで夏季休業中の子どもたちの行動も制限される中で、友人たちと一緒に本物に触れ学ぶことで、学習意欲の向上につなげます。

また、夏季休業中の自由研究や、自主学習のきっかけとなることを目的とします。

②事業内容

開催月：7月

講師：群馬県立自然史博物館職員

内容：海のハーバリウム作り・アンモナイト化石のレプリカ作り

海のハーバリウム作りは、瓶の中に乾燥させた本物の海藻、貝殻などを入れハーバリウムオイルを入れ完成させました。

アンモナイト化石のレプリカ作りでは、自然史博物館で所蔵している本物のアンモナイト化石を持ってきていただき、見たり触れたりして学びました。その後、石膏を型に流し入れレプリカを作り、アクリル絵の具で各々思い思いに着色しました。

(2) 事業の評価・反省

群馬県立自然史博物館は市内にありますが、コロナの影響で予約制となり気軽に行くことができなくなりました。出前講座では本物の化石に直接触れたり解説してもらうことで、直接行ってもっと学びたいという子どもたちの意欲も感じられました。

また、作品作りでは子ども達のそれぞれの個性が表現され、異年齢でお互いに手伝いながら作業することができました。

4 今年度のまとめ（反省と評価）

各種講座、教室参加者については高齢化・固定化が見られます。

新しく開講した健康気功教室では新規の顔ぶれも見られたため、今後も地域住民の意見を取り入れ新たな講座を企画していきます。

令和4年度からは公民館にフリーWi-Fiが設置されるなど環境が変化してきていますので、これらを活用し若年層の利用が増加するよう工夫していきます。

